

2019年5月31日(金)～6月2日(日) 九州ツアー(平治岳、由布岳)

三日目(6月2日日曜日):雨のち曇

最終日には由布岳に登る予定でした。2年前の九州ツアーでも由布岳登山の計画が入っていたのですが、雨で流れてしまいました。今回はそのリベンジでもあり、由布岳登山だけは避けて通るわけにはいかない、相当意気込んだプランでした。

ところが昨日午後に由布岳周辺の予報が曇りとなり、夕方になると雨の見込みに変わっていききました。そのころからでしょうか、参加メンバーの中に微妙な空気が流れ始めました。二日目にミヤマキリシマをあれだけ堪能し尽してしまったあとでは、当然予想されたことではありました。(なにしろ、2年前にも同じような空気が流れましたから。)

メンバーの一部から、「雨の時は勿論のこと、曇天でも無理して登らなくても良いのでは無いだろうか?」といった、そのような空気というか雰囲気というか、あるいは悪魔のささやきとでも言いましょうか、そんなきな臭いものが漂い始めたのであります。(これも2年前と一緒です。)

更に一部からは、「別府温泉に行ったことが無い。一度は行ってみたい。」などと、日付も変わらない昨晚のうちから具体的な提案まで出てしまったのです。(2年前には、ここまで思い切った発言は有りませんでした。)

さて、どんな顛末が待っているやら・・・。



三日目の朝を迎えた。

当たらなくても良い、天気予報が当たった。
三日目は朝から雨であった。

もはや抗いようも無いので、由布岳登山は中止となった。

湯布院と別府温泉散策をすることになった。

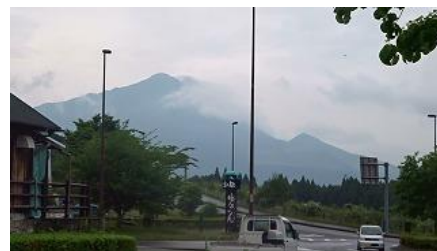


湯布院街外れのセブンイレブンで、予約してあったおにぎり18個を引き取って、郊外の道の駅で食べることにした。



「道の駅 ゆふいん」は、洒落た造りであった。

雲に覆われた由布岳が望めた。



朝食を食べるに丁度良い休憩室があって、ゆっくり腹ごしらえをした。

大変親切な店の人がいて、カップスープの為に湯をサービスしてくれた。



金鱗湖に近い駐車場に車を停めて、湯布院の街を散策することにした。



金鱗湖から流れでる大分川で、漁りをしていたアオサギ



金鱗湖へ

朝霧が立つことで有名な金鱗湖を周遊した。

日本古来の魚の他に、縄張りを作って生息しているティラピアも沢山見られた。



どうしたわけか、中島さんが鳥居にとまっているアオサギにすっかり魅せられてしまって、動かなくなりました。

「私にも翼をください」とでも声をかけていたのか・・・？





金鱗湖を後にして、湯布院の街をのんびり散策



中島さんはロールケーキを求めて、脱兎のごとく専門店「B-speak」を目指した。



彼女を置いて、男性は湯布院駅舎を見に行った。

*伊能さんは駐車場の近くの木の下で、のんびり涼をとっていた。



なかなか味わいのある駅舎であった。





由布院駅から望む由布岳の勇姿

由布院の街をよく歩いた。

猿渡さんと堀さんとはここで別れることになった。

猿渡さんは車で大牟田に戻り、堀さんは親戚が待っている福岡へむけて列車に乗り込むこととなった。

さて、残りの7人は某氏の希望を入れて別府温泉に向かうことにした。



向かう先は、別府鉄輪温泉「^{かなわおんせん}絶景の宿 さくら亭」

中島さんが素早くスマホで調べてくれた。

(さくら亭 正面玄関)



11時30分過ぎに到着





肌にやさしくて良い湯だ、評判に違わぬ別府の湯であった。

我がリーダーは殊の外お喜びであった。



(よしよし、思い通りにうまくいったわい！)



湯船から見下ろす別府の街

「絶景の宿」の名前の由来は、このことか。至る所から湯煙が立ち上っている。

「さくら亭」では飲食が出来ないので、昼食は大分空港でとることにした。

空港への道すがらで「地獄」を一つ見ていこうということになった。その名は、「坊主地獄」



名前もおどろおどろしいが、受付も怪しい。受付嬢(?)の顔は一切見えず、窓口に出した一人400円のお金だけは、手がニョロリと出てきて持っていった。

この地は元々「延内寺」という寺が建っていた場所だそう。480年前に突然大爆発して、住職と寺院は一瞬のうちに噴上げられて、姿を消してしまったという。





2時前に空港に着いた。レンタカーを返却し、土産物を買って、打ち上げを兼ねた昼食をとることにした。

前回の九州ツアーではうかつにも寿司屋に入って、頭がくらくらして、足下がぐらつくほど高い関サバを食べて、目が飛び出したことを思い出した。今回は寿司屋に入らなかったものの、実によく食べ、驚くほどよく飲んだ。払った代金は、寿司屋に入った時とそんなに変わらなかったのではないかな。何しろ2時間近くも飲んでいたので。





←これは中島さんの最後の締め
の食事。名物「だんご汁」



16時55分、やっと機内の人になった。

長い、長〜い打ち上げであった。

平治岳、立中山のミヤマキリシマの美しさには、感動しました。何度でも訪れたい山だと思いました。

今回も由布岳には登れなかったのですが、思わぬ山情報も得ました。由布岳は秋の紅葉もなかなか良いのだそうです。なるほど、この山に登るには、その手があったのか。某嬢、某男はすぐにその話に飛びついてしまいました。

猿渡さんには色々お世話になりました。美味しいお酒まで差し入れて頂き感謝しています。

